

# 町政懇談会を開催しました

先月に引き続き、町政懇談会で出されましたご質問「子ども課、少子化対策」「防災、都市計画、農業対策等」についての要旨と回答の概要をお知らせします。各会場の懇談記録は、町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

## 【子ども課 少子化対策 への主な質問】

子ども課の設置に何のねらいがあるか。少子化対策についての力点は何か。

子ども課の開催など、子どもの地域を知るための教育を充実したほうが良いのではないか。  
子どもに対する教育だけでなく、親世代に対する教育も必要ではないか。

## 回答

●子ども課の設置は、17年3月策定の「町次世代育成支援対策推進行動計画」を実行するため、「子どもに関する行政窓口の一本化を図る」ことが目的です。子ども課新設により、少子化対策にも更に力を入れます。町外からの移住者支援も視野に入れながら魅力あるまちづくりを進め、町の若い世代が外に出なくても

満足できる環境を作っていきたいと思えます。

少子化対策の力点は、子ども課の設置を含め今後の検討課題です。構想として、子育て支援センターや子どもパークの設置等があります。

●子ども議会については、検討した経過もありますが、事前準備等に相当の時間が必要となり、実施にいたっていません。

●親世代の教育については、社会情勢の変化や価値観の多様化などから、子育ての方針や仕方も多様化しています。価値観等の違いを尊重しながら、現役子育て世代の要望にできるだけ答えたいと思います。

## 意見

●報道等で話題になるような子育て支援を行えば、町外からの移住が増えるのではないかと。

●新総合計画策定でのパブリ

ックコメントは、子どもも対象に実施したらどうか。町を考える気持ちを子どもの中から醸成する必要がないか。

## 【防災、都市計画、農業対策等への主な質問】

防災対策について、具体的な方策は何か。

都市計画道路・北通り線についてはどのように考えているか。

農業後継者の育成について、町の考えや対策はどのようになっているか。

産業団地への企業誘致と平岡烏帽子の住宅用地については、どの程度進んでいるか。

町でペットボトルの水販売を開始したがどんな状況か。新たな財源となるのか。最近国道の振動が激しい。夜眠れない状態。どのような対策をとっているか。

## 回答

●防災対策は、ここ数年で相当力を入れます。大災害時に役場からの救援物資が届かないことを前提にした準備を各集落にお願いしています。自主防災組織です。また同報無線の整備も検討しています。億単位の仕事になります。

大地震などによる通信回線の切断に対応するためにも必要となります。災害時の危険箇所を示した「ハザードマップ」も作成します。避難所の位置を含め、町民にわかりやすい情報を提供します。

●北通り線については、計画を継続します。地権者の皆様から、都市計画道路を建設するという理由で購入してきた土地です。見直しが必要との意見もあります。

●農業後継者対策はできる範囲で実施しています。全体の対策には難しいものがありますが、個別相談には具体的な対応をとります。エターン等で就農する場合も同様です。

●産業団地、住宅団地については、進展がありません。引き合いはありますが、まとまりません。引き続き努力します。また、住宅団地だけでも着手をとる意見もありますが、確実な見込みがない状態ではお金をかけられません。

●ペットボトルの水ですが、ご存知のように6月に浮遊物が発見され全品回収しました。製造元と事業再開の打ち合わせを進めているところです。水の販売目的は、水資源の大



託児の設けられた会場では、子育て世代の方にも大勢ご参加いただきました。

切さや富士見町のPRであり、収益は水資源環境の保全に役立たいと考えています。

●国道の状況については、早速国交省につなぎます。夜間交通量を抑制するため、中央道の割引制度の拡充などを諏訪ナンバーの協議会へも提案します。

今回の町政懇談会は以上のような状況でした。皆さまからいただきましたご意見は、今後の町政運営・新総合計画の策定に生かしていきます。

## 【お問い合わせ】

総務課企画統計係

☎62-9332

(有)9332